

北海道におけるアトピー性疾患に関する疫学調査

出典	小児保健研究(0037-4113)63巻4号 Page412-420(2004.07) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2004299119)
著者	大見広規 他
調査地域	北海道
調査時期	2004年
調査対象	3歳
依頼数	7735人
回収率	86.20%
有効回答数	6667人
診断方法	医師による診断
有症率	11.80%
調査概要	北海道の市町村において3歳児検診を受診した児を対象にアレルギー疾患の有病率を調査した論文。3歳時点でアトピー性皮膚炎の有症率は11.8%、その中でも過去にアトピー性皮膚炎と診断されて3歳時も症状が持続していた児は66.6%であった。